

## NEWS 続報！ バングラデシュ工場火災- 西日本防災システム

2014 02 09

112人が亡くなった2012年のバングラデシュの衣料品工場(タズリーン・ファッションズ社)火災で、逃亡していた工場の所有者が、警察に出頭し、殺人容疑で起訴されるそうです。この火災ではバングラデシュの衣料品製造業界の危険な労働条件などが明るみに出ました。昨年4月には工場崩壊事故が発生し、1100人以上の従業員のかたが亡くなっています。

警察はこの工場の火災で、工場所有者とその妻の2人の容疑者を含む13人を殺人容疑で手配し、このうち逃亡した夫妻ら6人について逮捕状を取ってその行方を追っていたそうです。

警察に出頭したこの夫妻はダッカの裁判所に保釈を申請しましたが、認められず、次の司法手続きまで収監されることになったそうです。この裁判で有罪が確定すると、最低、7年の懲役、最高、終身刑となる見込みだそうです。他の逃亡中の4人は依然見つかっていないそうです。

この出火元となった工場はダッカ近郊で米ウォルマート・ストアーズなど大手小売業者向けに生産しており、非常口もなく、狭い通りにあったことから消防車の侵入も手間取るなど、迅速な消火活動ができなかったようです。

警察の捜査では、マネジャーや警備員らは出火当時、これは通常の火災訓練の一環だと従業員に言っていたため、多くの人が逃げ遅れたそうです。また、無秩序、無計画に拡張された工場が炎に包まれた際、従業員らは門を開けようとしたのですが、外から鍵がかけられていて開けることが出来なかったようです。

バングラデシュの衣料品業界は中国に次ぐ世界第2位で、同業界は主に米国と欧州への輸出で年間200億ドル(2兆0500億円)以上の収入を得ているそうです。早急に改善しないと再発の可能性はありそうですが・・・



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 